

# オフィス 大変革時代

## Introduction



# 創造力を加速する ステージ

フリーカーの知的な創造力を最大限に引き出すオフィス環境の設計。これは社会構造やワークスタイルの変化を超えたオフィス設計の普遍的なテーマといえるだろう。そういった意味で、企業の本社社屋の建設は、このテーマを実現するための多様なオフィスマネジメント手法を試みる最適な実験機会でもある。今号は、新本社ビルの企画設計段階から創造力の再開発をワークフレイブ設計のコンセプトに据え、これを計画的かつ効率的に追求し実現した企業のマネジメント空間をご紹介します。

■地下を感じさせない吹き抜け空間  
自然光を生かしたB1階。  
2階天井までの高さは11m。

## ■フリーゾーン(基準階)

ミーティングやパネル作成作業など、自由に使用できる。



■フリーデスク=ノンテリトリアルデスク(基準階ワーキングゾーン)  
一人一台のノートパソコンとPHSに加え、個人用書類BOXも設置。

## ■プレゼンテーションルーム(3階)

業界初の照明実験装置や、70インチのソフトボードを装備。

## 3つのコンセプトを実現

株式会社エムクリエイツは、丸井グループの店舗内装・広告制作会社。設立は1959年。同社の新本社ビルが東京・中野に竣工したのは98年11月、創立40周年を迎える直前のことである。新本社開設の目的は、ワークスタイルの改革による社員の創造力と提案力の強化、

そして地域社会への貢献。この目的を実現するため、以下に掲げる3つのコンセプトを設定した。①Creativity(店舗内装・広告制作の根幹をなす創造力の強化)、②Presentation(設備機能の充実と活用による提案技術力の向上)、③Sociality(省エネルギー・安全

対策の追求による環境への配慮と近隣社会への貢献)。これらコンセプトを具現化するため、企画段階で63名からなるプロジェクトチームを編成。10を超える設計案の検討と部署ごとのワークスタイルをトータルに分析し、オフィス設計に投影した。



■企画設計本部ワーキングゾーン(B1階)  
CAD専用のデスクと、疲れない椅子を採用。

## Creativity Presentation Sociality



■スカイテラス(4階)

### 創造力を生み出すオフィス

新本社第1のコンセプトは、社員の創造力の源泉となるオフィス環境の整備。この実現のため、“AIMネット(業務支援システム)”を導入。一人一台のPC・CAD体制の下、グループウェアを利用したイントラネットを構築し、情報の公開と共有化を図った。また、すべてのデスクからAIMネットにアクセスできる最先端の情報環境をベースに、ノートパソコンと館内PHS、個人用BOXの利用によるフリーデスク(ノンテリト

リアル)型ワークスタイルを構築。スペースの有効活用で、コラボレーションコーナーとシンキングスペースを各フロア1ヵ所以上に設置し、省スペース、ペーパーレスなどによるコストセーブという面でも大きな成果を上げている。また、地下1階の設計フロアには、吹き抜けからの採光を効果的に利用したサンクンガーデンを設置。創造的な思索力を刺激する上質なアメニティ空間が設計されたのである。

### 提案力をバックアップする機能

第2のコンセプトは、顧客への提案力の強化。これを実現するため、社屋全体をプレゼンテーションツールの一つとして位置づけた。デジタルデータを多様に映像処理する70インチのソフトボードや業界初の照明実験装置、120の各種内装サンプルを常設した顧客参加型のプレゼンテーションルームを設置。また、膨大な量の図面、写真、文書等を効率的に管理保存するデジタル・ファイリングシステムを採用した。これは、必要な時に検索・プリントアウトしてプレゼンテーションツールを充実させるだけでなく、ペーパーレス化にも

寄与しており、第3のコンセプトである省エネ対策とも連動する。自然採光や自動調光システムによる照明電力の30%削減、消耗品のリサイクルなどとともに、全社員参加型の省資源化運動をトータルに展開。更に、高度な耐震性を備えた同ビル地下には、災害時の救出用具や医薬品を備蓄し、近隣地域へのケアなども視野に入れた総合的なソーシャルリティを追求した。同社は、今後、新本社建設で培ったノウハウを、商業施設だけでなく、機能的で快適な環境を備えたトータルなオフィスの設計・施工事業にも活かしていくという。